

部分係数法・H29道示対応

- H24道示対応製品の「箱式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応
- 胸壁、翼壁、堅壁(前壁、後壁、側壁、隔壁)部材の地震時温度変化荷重(D+TH+EQ)ケースの照査対応
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「深礎フレームの設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」と連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能

Ver.3 改訂内容

2021年3月31日リリース

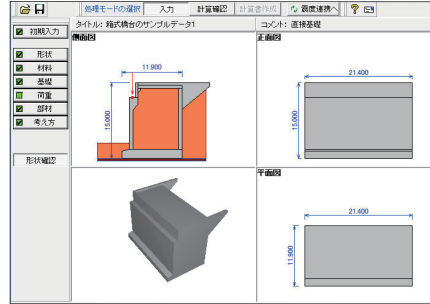
1. 杭基礎設計便覧(令和2年9月)に対応
2. 部材種類の選択の拡張
3. 震度算出-下部工-杭基礎製品の計算書統合出力に対応

旧基準

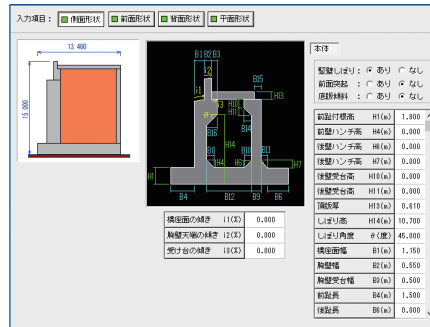
道示IV(H24.3)、設計要領(H18.4)に基づいて、箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。

- 底板剛体照査、底板のせん断補強鉄筋比の照査、底板の補強設計(直接基礎、杭基礎)、レベル2底板設計時、任意荷重を考慮が可能
- レベル2地震時の安全性判定が可能、杭基礎連動では2.5次元の設計が可能

▼メイン画面



▼形状入力



ラーメン式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.3 / (旧基準) Ver.8

静定構造物であるラーメン式橋台の設計計算、耐震・補強設計プログラム

H29道示対応
プログラム価格
¥297,000
(税抜¥270,000)

底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥33,000
(税抜¥30,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜¥254,000)

旧基準
プログラム価格
¥218,680
(税抜¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥23,100
(税抜¥21,000)

Windows 10/11対応

3DA対応

電子納品

3D PDF

形状から自動的に骨組解析を行います。橋座の設計、踏掛版、突起の考慮、翼壁の設計、杭本体の設計などをサポートしています。

- 各部材毎に温度変化、乾燥収縮を考慮した設計検討可能
- 橋座の設計、踏掛版の設計、翼壁の設計
- 直接基礎:荷重の偏心を考慮した地盤の支持力検討、突起を考慮した滑動照査
- 置換基礎を設置し、滑動・地盤反力度を考慮可能
- 杭基礎:許容支持力算出、杭本体の設計、杭頭と底版の結合部の照査
- 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動可能

【翼壁拡張オプション】

- 翼壁の設計において、平板解析に対応

部分係数法・H29道示対応

- H24道示対応「ラーメン式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- ラーメン部材(前壁、後壁、頂版、桁受台、底版中央部)のほか、前後趾、胸壁、翼壁等の部材照査が可能
- ラーメン部材の隅角部では、端接合部の照査が可能
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応

旧基準

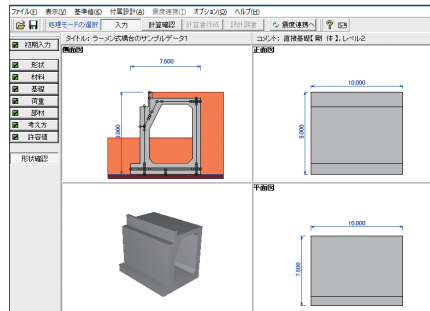
- 保有水平耐力法によるレベル2地震時の前趾・後趾・底版中央部照査
- 底版下面の段差フーチング・前後趾、底版中央部の厚さが違う形状サポート
- 底版を増厚・増幅する補強設計、底版剛体照査の検討可能

Ver.3 改訂内容

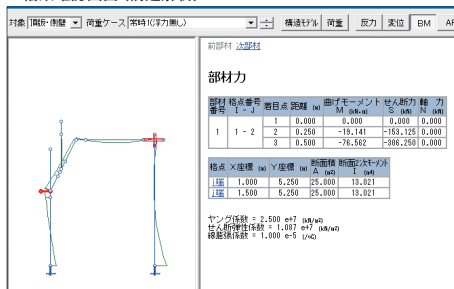
2021年3月31日リリース

1. 杭基礎設計便覧(令和2年9月)対応
2. 部材種類の選択(一般/気中/水中)の拡張
3. 震度算出-下部工-杭基礎製品の計算書統合出力対応
4. 受け台のコーベルとしての照査対応

▼メイン入力画面



▼結果確認画面(構造解析)



▼調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数入力画面(H29)

部材種別	調査係数	解析係数	部材・構造係数	抵抗係数
前壁	1.00	0.90	1.00	0.90
後壁	1.00	0.90	1.00	0.90
頂版	1.00	0.90	1.00	0.90
桁受台	1.00	0.90	1.00	0.90
底版中央部	1.00	0.90	1.00	0.90
前後趾	1.00	0.90	1.00	0.90
翼壁	1.00	0.90	1.00	0.90

▼3D表示

